

2. 卒業後の進路

(1) 特別支援学校高等部卒業後の進路

特別支援学校高等部（本科）の卒業生（平成24年3月末）の主要な進路については、主たる障害種別にみると、視覚障害では社会福祉施設等入所・通所（43.3%）、進学

（31.5%）、聴覚障害では進学（41.6%）、就職（32.7%）、知的障害では社会福祉施設等入所・通所（66.7%）、就職（28.4%）、肢体不自由では社会福祉施設等入所・通所（80.4%）、病弱・身体虚弱では社会福祉施設等入所・通所（60.9%）となっている。

■ 図表1-18 特別支援学校高等部（本科）卒業者の状況—国・公・私立計—（平成24年3月卒業生）

区分	卒業者 A	進学者				教育訓練機関等入学者						就職者		社会福祉施設等入所・通所者		その他	
		大学等	専攻科等	計B	B/A(%)	専修学校	各種学校	職業能力開発校	計C	C/A(%)	D	D/A(%)	E	E/A(%)	F	F/A(%)	
単位	人	人	人	人		人	人	人	人		人		人		人		
視覚障害	330	33	71	104	31.5%	3	—	9	12	3.6%	36	10.9%	143	43.3%	35	10.6%	
聴覚障害	529	100	120	220	41.6%	9	2	28	39	7.4%	173	32.7%	73	13.8%	24	4.5%	
知的障害	13,541	2	70	72	0.5%	11	4	233	248	1.8%	3,842	28.4%	9,029	66.7%	350	2.6%	
肢体不自由	2,785	40	2	42	1.5%	18	4	77	99	3.6%	293	10.5%	2,238	80.4%	113	4.1%	
病弱・身体虚弱	522	31	2	33	6.3%	28	2	17	47	9.0%	76	14.6%	318	60.9%	48	9.2%	
計	17,707	206	265	471	2.7%	69	12	364	445	2.5%	4,420	25.0%	11,801	66.6%	570	3.2%	

※①大学等・・・・・・大学学部・短期大学本科及び大学・短期大学の通信教育部・別科

②専攻科・・・・・・特別支援学校高等部専攻科、高等学校専攻科

③職業能力開発・・・・・・職業能力開発校、障害者職業能力開発校等

④社会福祉施設等入所・通所者・・・・・・児童福祉施設、障害支援施設等、更生施設、授産施設、医療機関

⑤就職しながら進学した者、入学した者は、進学者及び教育訓練機関等入学者のいずれかに計上している。

⑥四捨五入のため、各区分の比率の計は必ずしも100%にならない。

(2) 大学等の受験

国公立の4年制大学や短期大学の平成24年度の入学試験において、障害に対する配慮を受けた受験者数は、視覚障害者169名、聴覚障害者630名、肢体不自由者427名、発達障害者115名、その他（言語障害者、病弱者等）614名となっている。受験に際して行われた配慮としては、視覚障害では弱視者用の拡大

版の文字問題や解答用紙の準備、点字受験等に伴う別室受験や試験時間の延長など、聴覚障害では指示事項の文書による伝達、補聴器の使用など、肢体不自由やその他では車いすの使用、別室受験、乗用車での入構など、発達障害では別室受験や試験時間の延長などであった。

■ 図表1-19 入学試験における配慮状況（受験者数）

単位：人

	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	発達障害	その他	合計
大学	167	614	412	112	606	1,911
短大	2	16	15	3	8	44
計	169	630	427	115	614	1,955

※数値は延べ数である。

資料：文部科学省大学入試室調べ（平成24年度）

（障害のある大学生等の数については、P89に掲載。）